



市民創世会  
大 門 嘉 和  
議員



## 7月の大雨による水害について

**問** 市内の水害の被害状況は。

**答** 梅雨前線に伴う大雨は市内全域に及び、天神川、神通川および論手川が越水したほか、道路冠水、市道、林道、農地等への土砂流出などが発生した。また、建物被害は、床上浸水が4件、床下浸水が20件、一部損壊が1件発生した。被害は河和田地区を中心に、床下被害は片上、豊、北中山地区でも発生している。

**問** 天神川における被害の防止や軽減化のための対策は。

**答** 管理する県では、越水した区間の両岸の堤防の高さを検証し、地元と協議しながら、コンクリート擁壁のかさ上げや、河川

に設置されている陸間(コンクリート擁壁の切欠き部)の閉鎖工事を進めたいとしている。さらに、河川の流下阻害となっている土砂を調査し、越水部分等を重点的に、今年度はしゅんせつを実施すると聞いている。

**問** 福井豪雨以後、どのような対策を講じてきたのか。

**答** 鞍谷川とその上流の河和田川の合流点から600メートルの河川事業と、河和田川の橋梁の改修工事を実施している。

また、土砂災害対策として、沢町の砂防が昨年度に完成し、尾花町の毘紗川は令和6年の完成に向けて事業を進めている。今後は、上河内町の2溪流についても砂防事業を進めるよう県に要望していく。



新清風会  
帰 山 明 朗  
議員



## 嚮陽会館の市民活動交流センターと屋内遊戯場との複合交流施設整備について～この計画は市民と情報を共有・協働して丁寧に進めるべき～

**問** 嚮陽会館を複合化する理由は。

**答** 市街地に一定数の公共施設が集約する中、嚮陽会館は昭和59年供用開始の大きな公共施設・公会堂と位置づけており、現在の稼働率は低いが、シビックセンターとして機能をよみがえらせたいという思いがある。また、同施設に近接するNPOセンターが老朽化してきていることや、多くの市民からの要望が非常に強い屋内遊戯場の3つの機能を集約し、付加価値を高めた施設を目指したいとの思いから、複合交流施設としてリニューアルという基本方針をまとめた。

**問** 複合化による費用面のメリットは。

**答** 施設単独で全面改修するよりも、複合化による包括的な改修のほうが総工事費は圧縮され则认为。また、複合化により利用できる優良な交付金や地方債があり、市の持ち出しも少なくなる見込みである。さらに、運用開始後のランニングコストについても、複合化により各種基本料金や施設の維持管理費などの固定費が大幅に圧縮できるというメリットもあると考える。

### その他の質問

- ・鯖江市将来ビジョンについて
- ・次年度に向けた中心市街地活性化計画策定について



創造  
田 中 良 幸  
議員



## 鯖江駅東口の整備の目的について

**問** 鯖江駅東口の整備計画の目的は。

**答** 鯖江駅は鯖江の玄関口および顔であり、市民や観光、ビジネス等での来訪者の利便性を低下させることができないという中で、将来のまちづくりに向け、駅の魅力や利便性の向上、駅周辺の活性化とにぎわい空間の創出につなげることを目的としており、検討委員会を立ち上げ、委員の意見を基に基本計画を策定している。

**問** 新聞報道などで、総工費は25億円程度になると伝わっているが、概算の工事費や内訳は算出されているのか。

**答** 基本計画を基に算出した事業費の概算について、25億円と報告している。現在、

構造等の調査を行っており、年内には詳細な工事費の算出ができると考える。

## 西山公園エリアのにぎわい創出について

**問** 嚮陽会館の改築を機に、西山公園エリアのにぎわい創出といった観点から、嚮陽会館や市営住宅桜町団地の跡地といった点を結んだ、面としての総合的な整備についての考えは。

**答** 市長 西山公園を含めた、エリア全体のランドデザインは非常に重要であり、公園の集客力をさらに高めるために、鯖江駅から西山公園までを点ではなくて面で捉え、にぎわいを創出できるような構想を描いていく。